

大阪代協が理事オリエンテーション

支部活性化など熱心に討議

大阪代協(黒石光寿会
長)は、6月10日午後2
時から大阪市北区のあい
おいニッセイ同和損保フ
エニックスタワー16階大
会議室で、正副会長を以



挨拶する黒石会長

じめとする理事39名参加
のもと、「理事オリエン
テーション」を開いた。
嶋康仁副会長の司会で
オリエンテーションは進
行し、まず黒石会長が
「大阪代協は、ご存知の
ように、47都道府県代協
のなかで最も会員数が多
く、また、今年設立55周
年を迎えた大変歴史のあ
る組織です。理事の皆さ
んは、その組織の代表で

あるという自覚と責任感
を持っていただき、業界
全体のために、業界の代
表として職責を全うして
いただきたい。とくに
『支部活動は代協活動の
原点』です。支部活動の
活性化に向け、皆さんが
その先頭に立って、一般
会員に魅力を感じてもら
える代協にするため一緒
に取り組んでいきましよ
う」と挨拶した。

続いて、諏訪年信専務
理事が「代協の組織につ
いて」と題し、代協組織
の仕組みや年間スケジュ
ール、コンプライアンス、
定款・規則のほか、理事
会で頻繁に出ている「言
葉」など、理事として知
っておくべき周辺知識に
ついて説明。

黒石会長からは、平成
28年度(第9期)事業計
画の説明があり、大阪代
協が今後1年間取り組む
活動内容について、意識
の共有を図った。

休憩をはさみ、中野信
雄事務局長が「支部運営
マニュアル」をもとに、

支部活性化に向けメッセ
ージを発信。そのなかで
「月1回の支部会の開催」
「支部同士の交流」「次
世代の人材育成」などを
呼びかけた。
また、支部の取り組み
事例を、中村和博堺支部
長、保田信哉東大阪副支
部長、尾形卓美京阪東支
部長、岡部通夫
京阪西支部長の
4名がそれぞれ
発表。その後、
4つのグループ
にわかれ、支部
活性化策などに
ついて熱心にデ
ィスカッション
を行い、順西能
成副会長の閉会
挨拶で、オリエン
テーションは
終了した。



グループディスカッションの様子